

夢に茶をシモンズ



アルバイトで、味に浸り、大卒後、借金し独立

茶農家でアルバイトした京都と奈良の学生三人が、卒業後、宇治茶の本場、京都府南部の和束町で農事法人「百姓王国」を立ち上げ、茶の栽培に真正面から挑戦。今年、有機栽培茶のJAS基準をクリアした。「環境にやさしい茶で、伝統の茶所へ新風を吹き込む」と、三人は意欲を燃やし続ける。

農事法人「百姓王国」



使文、有機栽培迎へ新機研究

三人は府北部・丹後町出 円すつ備め、根本さんの7身の仲小路治朗さん、奈良 百万円と合わせ資本金二千 萬大和郡山形出身の松本宏 和さん、奈良市出身の豊多 義孝さん、三人は、同 大卒の3年間に和 束町の杉本由巳さん（ガヘア ルバイトに来たのがきっかけ） 助成金の募集、就農 会員の募集を通じて三人 茶に転じた昨年5月、 「百姓王国」を立ち上げ 期待を寄せる。

宇治茶の本場 後継者不足トリオが新風

「時には露天を伴ってレストランでゆっくり食事をしたい」。キヤッチアイ紙面担当の、こんな悩みをよく聞かされる。大阪・吹田市の「J」農産物販売所に近い、同市東部の、東平里OMパレス、イタリア料理「Baba」(06・63899・6644)は、ネットと一結に食事が楽しめる「愛蔵」オーナーの門田亮輔さんは「大も家と一緒ですから、連れて来て食事を楽しんでほしい」。

出来上がったお茶を選び出す仲小路さん

新機研究

「時には露天を伴ってレストランでゆっくり食事をしたい」。キヤッチアイ紙面担当の、こんな悩みをよく聞かされる。大阪・吹田市の「J」農産物販売所に近い、同市東部の、東平里OMパレス、イタリア料理「Baba」(06・63899・6644)は、ネットと一結に食事が楽しめる「愛蔵」オーナーの門田亮輔さんは「大も家と一緒ですから、連れて来て食事を楽しんでほしい」。

お茶の栽培に挑戦する若者三人組。左から松本さん、仲小路さん、豊多さん

た。農産物を使わず有機肥料で作れる粉砕茶の研究などで行政の協力を得るため